

社会実装に向けた戦略に係るワーキンググループ（WG）の進め方の概要

令和 5 年 6 月 29 日

内閣府

科学技術・イノベーション推進事務局



SIP第3期 制度・運用に係る課題と進め方

! 制度・運用に係る課題

【理解度・普及度の不足】

5つの視点を活用した戦略・ロードマップや社会実装の指標のコミュニケーションツールとしての理解度・普及度が十分でない

【目標とゴールイメージが不明瞭】

5つの視点、成熟度レベルを活用した定量的な目標、ゴール設定が適切に連携しマネジメントがされていなかったり、課題にあったXRLの定義や運用が確認、共有されていない

【インセンティブ制度の具体化】

マッチングファンドの基本的な考え方は定めたが、インセンティブやマッチングファンド制度など、産業界の参加を促す制度を課題ごとに具体化していただく必要がある



SIP第3期での進め方

社会実装に向けた5つの視点、成熟度レベルの考え方に係る説明（後日録画を配信）を関係者に向けて実施

- ・戦略及び計画で各工程の進捗ごとのKPIと最終到達点を明確化して、ピアレビューで示していただく
- ・制度や社会受容性も含め社会実装に向け産学官連携の促進が行われているか確認するとともに、連携活動やXRL活用の工夫を共有する。

（第2回社会実装WG 10月予定）

課題で目指す社会実装の形態に合わせて、産業界の参加を促すインセンティブを具体化、その内容を課題間で共有し産業界の参画促進を図る

（第3回社会実装WG 2月予定）